

などを検討している。活動のPRにも力を  
入れていきたい。



野崎久雄議員の質問

### 高齢者の带状疱疹ワクチン 接種費用の補助について

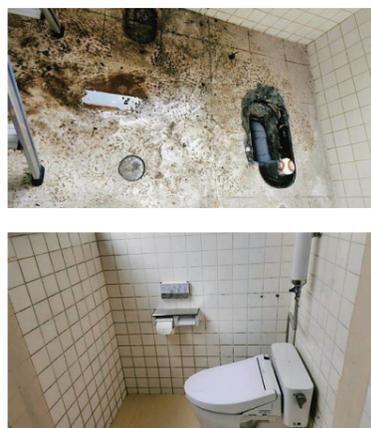
- Q 6月の議会での質問から3カ月過ぎたが、具体的な進展はあったのか。
- A 市民の皆様が満足していただける事業にするべく、来年度の予算編成に向け、詳細な制度設計の準備を進めていく。



### リフォーム補助金の新設について

- Q 今現在、三条市で行われている三条市すまい快適断熱リフォーム補助金は、基本工事に支出条件が設けられていて、なおかつ補助額が少な過ぎて驚きを禁じ得ない。10万円の補助額で住宅の何がリフォームできると考えているのか。
- A また、断熱に限定しないで、普通のリフォームでも補助できる制度を考えるべきではないか。
- A 国も省エネ基準や、さらに高水準

のZEH基準に適合した一定水準以上の断熱リフォームに対して補助を行っているが、三条市ではそれらの条件に満たない簡易な断熱リフォームに対しても補助対象とすることで、この制度の利用促進を図っている。



リフォーム前

リフォーム後



武藤元美議員の質問

### 介護保険について

- Q 物価高騰の中、介護サービスの利用に影響は出ていないか。
- A 利用控えの把握はしていない。相談等も受けてない。
- Q 介護現場での人手不足による支障や問題はないか。
- A 訪問介護で68%、入所施設で56%の事業所が人材不足を感じている。



藤家貴之議員の質問

### 栄・下田地区における固定 資産税の住宅用地に対する 課税標準の特例について

- Q 三条地区と栄・下田地区では運用方法が異なっており、令和6年度より三条地区の運用に統一するが、対象件数と試算額について伺う。
- A 令和5年7月末現在、対象件数は、栄地区866件、下田地区906件。試算額については、476万1800円の増を見込んでおり、平均で1件当たり2600円ほどの増である。

### 電気自動車(EV車)について

- Q 公用車の環境に配慮した電気自動車の導入状況について伺う。
- A ハイブリッド車やアイドリングストップ車などの導入は進めているが、電気自動車については、導入経費が割高なこと等の課題があるため、導入は考えていない。

### 市民への購入補助金を導入して はどうか。

- A 現時点では補助を行う予定はない。

介護現場では、職員が足りず体調が悪くても休めない、給料が安いなどと聞く。こうした環境の改善や対策をどう考えるか。

- A 人材の安定確保のため、金銭的支援策は重要と認識している。まずは、研修、イメージアップ、担い手確保、業務改善支援を検討する。

### 障がいを持つ人等の移動に ついて

- A 国、県、他市の動向を踏まえて研究したい。

### 県立吉田病院以外の、市内で発達 障害がいの医療及び療 育について

- Q JRの駅員不在時に自動改札のトラブル、電車の遅れ、運休などが分からず、障がい者や高齢者が戸惑うことがあると聞く。誰もが移動手段として利用するJRについて、市はどのように考えるか。
- A 駅員の配置や乗車券の購入方法などはJRの経営判断だ。
- Q 普段と違うことが起きた際、声を掛けてくれる駅員の存在は大きい。見守りを要望してはどうか。

### 農業政策について

- Q 猛暑や雨不足による農作物の影響への支援策は検討しているか。
- A 県の渇水被害応急対策を活用するが、市独自の支援は考えていない。



大きなひびが入り立ち枯れる田んぼ



岡田竜一議員の質問

### 新たな都市計画マスタープラン の策定検討状況について

- Q 今年度は何をやっているのか。
- A また、計画策定の体制と見通しについて伺う。
- A 今年度は、計画策定に必要な三条市の自然条件、社会条件、土地利用、都市整備状況等の現況把握と整理を行っている。

駅構内の業務に関してはJRが所管。要望は考えていない。



通勤通学で混み合う駅



岡本康佑議員の質問

### 県立吉田病院以外に、市内で発達 障害がいの診断を受けられる病院は あるか。

- Q 県立吉田病院の核である県立吉田病院を受診しようとする際、複数力月かかる状態は変わらないか。
- A 以前と変わらず予約が困難な状況。複数力月かかっている。

なり、政策推進課をはじめ各分野担当課と連携しながら進める。また、各関係団体など、外部の人で構成する策定委員会が随時審議いただく方向で検討している。来年度から策定作業に着手し、令和7年度末には新たな都市計画マスタープランを策定したい。

### 休耕地等を活用した再生可能 エネルギーの調査研究状況と 今後の事業化の見通しについて

- Q 今年度はどのようなことを具体に行ってきたのか。
- A また、来年度の予算編成の時期になるが、調査研究を振り返り、どのように来年度予算に反映するのか。事業化の見通しがあるのか、ないのかを伺う。
- A 休耕地等を活用した再生可能エネルギー、いわゆる早生樹等の植林の現時点での事業化は難しい。引き続き研究していく。



耕作放棄地を林地化できるか実験中の現場  
木質バイオマスに生かせるか否か

### 不登校児童生徒の増加に ついて

- Q 心の問題を専門とする公認心理師や臨床心理士がさらに必要ではないか。
- A 心理の専門家だけでなく、その他の人材もバランス良く配置し、家庭、学校、地域、関係機関が連携していけるように努める。

### 県立医療圏の他市町村と密に連携 して、この問題を解決していくべき ではないか。その決意と覚悟を聞き たい。

- Q 三条市が行う県等への要望では、療育センター機能や児童相談所機能を求めているのか。
- A 療育センター機能は平成30年度から、児童相談所機能は令和5年度から県等へ要望している。
- A 専門的な検査や療育の診断を行う医療機関はない。